



(公財) 福井県健康管理協会
検診課 健康支援室 大堀 香奈

健康ひとくちメモ

経営者・従業員のための

働く女性とがん検診

2020年の国税調査によりますと、福井県の共働き率は61・2%で全国平均51・6%を大きく上回り全国1位となっています。

働く女性のために、福井県では平成26年度から土日や平日夕方（17時以降）に子宮頸がん・乳がん検診が受けられる「休日レディースがん検診」「平日イブニングレディースがん検診」を実施し、最近では医療機関で受けることができるというCMや子宮頸がん検診を取り上げているニュースを多く観ます。

みなさんは、がん検診を受けていますか？

福井県の女性が、がんと診断された最も多いがんは乳がんで、次いで、大腸がん・胃がん・肺がん・子宮頸がんの順となっています。その中で子宮頸がんは近年20〜30代の女性に急増しており、40代まで罹患率が高くなっています。

20〜40代は働きながら子育てをしている働くお母さんの世代です。



最近の子宮頸がん検診の受診率を見てみますと、福井県の子宮頸がん検診受診率はコロナ禍前（R1年度）42・7%が、コロナ禍（R2年度）には38・5%まで下がりました。現在は少しずつコロナ禍前の受診率に戻ってきていますが、国の目標の60%には届いていないのが現状です。

福井県は働く女性にがん検診を受けてもらうため、前述に述べたように仕事を終えてからでも検診が受けられる環境を積極的につくっています。しかし、20〜30代の働く女性は、平日は仕事が終わると子どものお迎え、塾や習い事の送迎、その間に夕食の準備。仕事を終えてから子どもたちを寝かせるまでは時間との戦いです。休日も子どもとの時間や家事で終わってしまい、なかなか自分の時間を作るのは大変で検診が二の次になってしまいうのが現実ではないでしょうか。

働く女性のためにも職域検診に力を入れたいところですが、職域におけるがん検診は法律の規定がないため福利厚生の一環として任意で実施

している所が多く、検査項目や対象年齢・検診の実施方法は様々です。中小企業の職域検診もいろいろな面で実施が難しいと思います。しかし今後も、働くお母さん達に検診を受けるチャンスを増やせるように国や県に環境を整えていただき、私たちは働くお母さん達にがん検診の必要性を理解してもらえよう働きかけていきます。

子宮頸がん・乳がんの年齢階級別罹患者数

(上皮内がんを含む、福井県がん登録、2019年)

